

機器装置事業における新工場建設に関するお知らせ

―防衛・エネルギー分野の構造的需要増を追い風に、事業ポートフォリオの中核へ―

当社は、現行「2023 中期経営計画」において戦略事業を推進する機器装置事業（三菱長崎機工株式会社）をグループの中核へ成長させるべく投資を加速しています。エンジニアリングとマニファクチャリングを高度に融合した技術力を強みに、豊富な実績を有する三菱長崎機工は、昨今の安全保障やエネルギー分野をはじめとする旺盛な需要を背景に、当初計画を上回る受注が続いております。

このため、生産能力の大幅な増強を決定し、国内では 1994 年以来となる新工場を長崎県長崎市内に建設することとしました。今後、事業の拡大を通じて社会課題の解決に貢献し、持続可能な未来の構築を後押ししてまいります。

記

1. 背景と市場環境

＜安全保障分野＞

昭和初期より培った高い熱処理技術が強みとする防弾鋼板（防衛関連製品）とその応用製品において、研究開発から製造まで一貫して対応可能な体制を持つ三菱長崎機工では、国の防衛予算増額を背景に、関連製品の受注が好調に推移しております。今後も継続的な受注獲得と高付加価値領域への展開を進めてまいります。

＜エネルギー分野＞

AI 普及やデジタル化の進展に伴い、国内外で電力需要が急速に高まる中、同社のガスタービン用ケーシングなど発電所向け製品の受注が大幅に拡大しています。また、再生可能エネルギー分野では、既に製品納入実績がある浮体式洋上風力発電の市場拡大を見据え、大型部材に対応可能な国内有数の生産体制を構築しております。新工場建設による安定した受注基盤と先進的な生産体制を強みに、次世代のエネルギー需要に応えるべく、さらなる成長と革新を追求してまいります。

2. 新工場の概要

新工場では、需要が高まる防衛関連製品及びエネルギー関連製品の生産能力増強に加え、大型機器の海上輸送を前提に敷地・動線を最適化することで、物流コストとリードタイムを低減し、競争力強化を目指します。

（１）名称	三菱長崎機工株式会社 神ノ島工場（仮称）
（２）建設予定地	長崎市神ノ島工業団地内（※）
（３）敷地・延床面積	敷地面積：6.9ha、延床面積：約 11,000 m ²
（４）生産品目	エネルギー関連製品、防衛関連製品（防護装備品）等
（５）総投資予定額	約 46 億円（第 1 期：約 30 億円）
（６）稼働時期	2027 年 1 月（予定）

※長崎県議会の承認後、正式売買契約を締結予定



新工場イメージ図

(参考) 三菱長崎機工株式会社の概要

当社グループの機器装置事業を担う三菱長崎機工株式会社は、1975年の創業以来、機械設計から製造、据付・組立工事まで一貫したサービスを提供する総合エンジニアリング企業です。防護装備品や鍛圧機械を中心に、火力・原子力・洋上風力といった発電分野や水素・アンモニア関連、化学メーカー向けなど、多岐にわたる鉄構品・産業機械を手掛けております。現在は既存技術を応用し、航空機分野への参入を目指しています。

同社の詳細は <https://www.mnm.co.jp/index.html> をご覧ください。

(1) 名称	三菱長崎機工株式会社
(2) 所在地	長崎県長崎市深堀町1丁目2番地1
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長執行役員 空閑哲雄
(4) 事業内容	産業機械・鉄構品の開発・製造・販売
(5) 資本金	9億円
(6) 設立年月日	1975年1月

<本件に関するお問い合わせ>

広報・IR部 03-3536-3118

以 上